

普段とは違う視点から見た23区、
知ればもっと面白い!

コマなく さんぽ



港区

楽しく学べる体験型の展示と プラネタリウムを備えた 「港区立みなと科学館」

街のなかにある「科学」との出会いと触れ合いを、さまざまな展示とプラネタリウムで体験できる「港区立みなと科学館」。科学と世界がつながるエンジンとして、未来を想像する機会を提供するミュージアムを目指しています。

都会の真ん中で科学にふれる

港区立みなと科学館は、都市機能が集積する港区ならではの特性を活かし、「まちに息づく科学」の発見と探究をキーワードに、都心での学習・体験拠点となるべく作られた施設です。訪れるひとが科学へ関心を持ち、楽しく学びながら知識を身につけるという目的を達成するため、日本初の文部省認可小学校である港区立鞆絵小学校の跡地に、2020年に設立されました。

区内にある、気象庁や自然科学研究機構をはじめとする研究機関や団体、企業等と連携を図り、「まちと共に人々の成長を支える科学館」として、港区らしい都市型のネットワークを構築しています。

楽しみながら科学を学ぶ展示

1階の常設展示コーナーは、「しぜん」、「まち」、「うみ」など5つのエリアからなり、科学という視点でとらえた「港区」を、さまざまな形で紹介しています。大型映像装置を使った虫取り体験や空中散歩など、ゲーム感覚で楽しめる体験型の展示が中心となっており、直感的に科学に触れて楽しむことができます。実験室では、学校での学びを支援する理科の実験教室やサイエンスショー、ものづくりの楽しさを味わう各種ワークショップ等、好奇心や創造性を育む活動プログラムを提供します。

2階には光学式と4Kデジタルの投影機が設置されたプラネタリウムホールを完備し、800万個を超える美しい星空と臨場感あふれる映像によるオリジナル番組をはじめ、星空ゼミや講演会等も開催しています。また、同じフロアには、自然や気象現象を通して防災・減災について学ぶことができる気象科学館(気象庁)を併設しています。

未来を担う人材育成を目指して

当館は、科学と技術をテーマに、人々の交流と地域の活性化のエンジンとして機能することで、「まちへの誇りと愛着を持ち国際的な視野で世界をリードしていく人材」が成長していくことを目指しています。子どもたちには「自分たちには、これからの社会を変えていく力がある」という自信を持ってもらいたいと考えており、みなと科学館に来館した子どもたちの成長をお手伝いしたいとしています。



みなと・クエストMap、しぜん、まち、わたし、うみの
5つのエリアからなる常設展示コーナー



ドーム直系15m、座席数121席のプラネタリウムホール



多彩なイベントを開催

1階多目的ロビーでは、年に4回大きな企画展を開催するほか、土日祝日を中心にさまざまなイベントを開催しています。プラネタリウムでは、大人向けの星空ヨガやアロマプラネタリウム、星空コンサート等を実施するとともに、平日の昼休み時間帯には、予約不要・無料で美しい星空とゆったりした音楽を楽しめる「おひるのプラネタリウム」を実施しています。

港区立みなと科学館

所在地	港区虎ノ門3-6-9
開館時間	9:00 ~ 20:00 (プラネタリウムの最終投影は19:00 入館は閉館の30分前まで)
休園日	第2月曜日(祝日の場合は翌日)、 年末年始(12/29~1/3)、臨時休館日あり
入館料	無料 (プラネタリウムは大人600円、小・中・高校生100円)
アクセス	東京メトロ日比谷線虎ノ門ヒルズ駅より徒歩4分
お問合わせ	03-6381-5041

